

天気がよくて、湿気のない日にしまいましょう。

## ひな人形の正しいしまいかた

よごれたまま  
しまわないでネ



お人形の顔や衣装、お道具類には、ホコリがついています。毛ばたきでよく落としてからしまいましょう。

あー!!  
だめですよ



お人形やお道具をそれぞれ柔らかい紙でくるんで、ホコリがつかないようにしてください。

顔や手の部分は素手でさわらないようにしてください。顔や手のところは、柔らかい紙(ティッシュ等)でくるみます。

持ち道具は取り外して、それぞれ決まった袋の中に入れましょう。

こどしき  
たのしがったなあ



やさしく  
つつんでネ

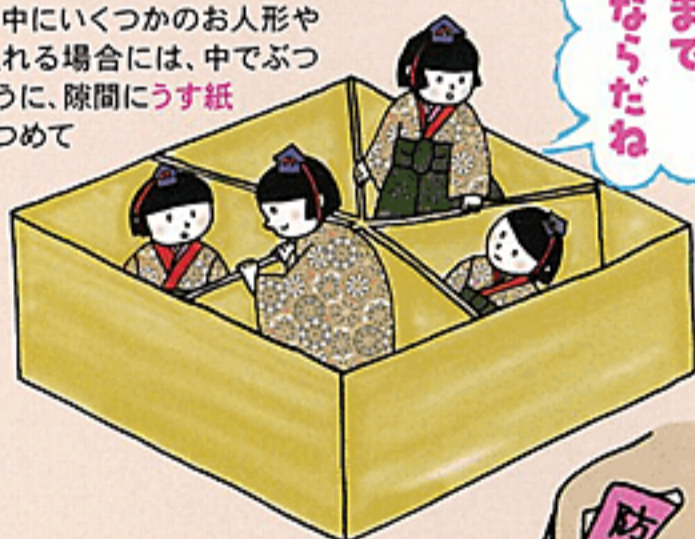


ぼくは  
あっちですよ



お人形やお道具は、それぞれ決まった箱の中に納めてください。飾る際に箱を開けた時の収納状態を写真に撮っておくとしまう時に便利です。

大きな箱の中にいくつかのお人形やお道具を入れる場合には、中でぶつからないように、隙間にうす紙などを軽くつめてください。



来年まで  
きょうちゅうだね

防虫剤を入れてよいかどうかは、表示ラベルなどをよく見て確かめましょう。防虫剤を入れる時は、お人形専用防虫剤が最適です。



ちよっと  
まっけて!!

### しまい方 ワンポイント アドバイス

#### ●おひなさまはいつしまうの？

ひなまつりが終わった後、なるべく早くしまおうとされていますが、天気がよく、空気が乾いている日を選んでおしまいください。天気の悪い日は、湿気を含んでおりカビや虫食いの原因になります。早くしまわないと婚期が遅れるなどと言いつたえられていますが、特に根拠はないので気にする必要はありません。それより長い年月飾る人形ですから、しまい方(保存状態)が重要です。

#### ●ひな人形の片づけに必要な道具は？

- ・毛ばたき……ホコリを払うとき使います。
- ・柔らかい紙(ティッシュ等)……お人形の顔を包みます。
- ・乾いた布……塗りの部分の乾ふきにつかいます。
- ・うす紙……お雛さまが動かないよう、すき間に柔らかく丸めて包みます。
- ・防虫剤……お人形、ぼんぼり、桜橘にいれます。

\*防虫剤はひと箱に1個とし、おひなさまなどに直接触れないように注意してください。また樹脂製品には入れないでください。表示ラベルでお確かめください。  
\*違う種類の防虫剤を一緒に入れしないでください。(例/ナフタリンと樟脳) また、毎年同じ防虫剤を使用するようにしてください。



天気がよくて、湿気のない日にしまいましょう。

## ひな人形の正しいしまいかた

よごれたまま  
しまわないでネ



お人形の顔や衣装、お道具類には、ホコリがついています。毛ばたきでよく落としてからしまいましょう。

あー!!  
だめですよ



お人形やお道具をそれぞれ柔らかい紙でくるんで、ホコリがつかないようにしてください。

顔や手の部分は素手でさわらないようにしてください。顔や手のところは、柔らかい紙(ティッシュ等)でくるみます。

持ち道具は取り外して、それぞれ決まった袋の中に入れましょう。

こごしき  
たのしがたなま



やさしく  
つつんでネ

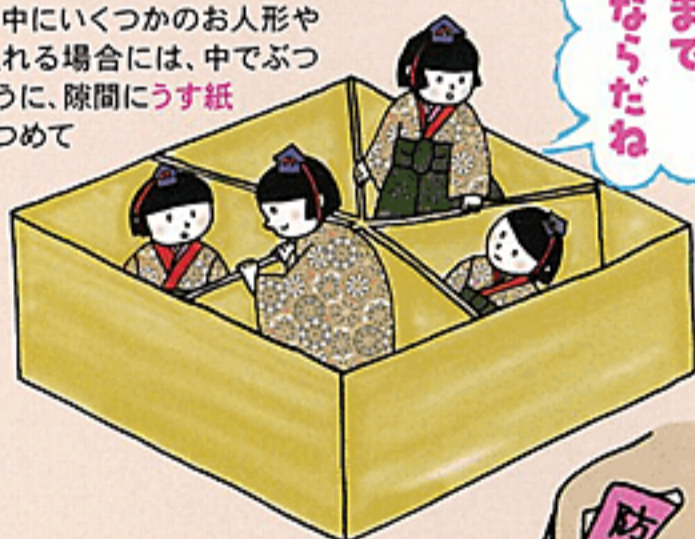


ぼくは  
あっちですよ



お人形やお道具は、それぞれ決まった箱の中に納めてください。飾る際に箱を開けた時の収納状態を写真に撮っておくと便利です。

大きな箱の中にいくつかのお人形やお道具を入れる場合には、中でぶつからないように、隙間にうす紙などを軽くつめてください。



来年まで  
きょうちうたね

防虫剤を入れてよいかどうかは、表示ラベルなどをよく見て確かめましょう。防虫剤を入れる時は、お人形専用防虫剤が最適です。



ちよっと  
まっけて!!

### しまい方 ワンポイント アドバイス

#### ●おひなさまはいつしまうの？

ひなまつりが終わった後、なるべく早くしまおうとされていますが、天気がよく、空気が乾いている日を選んでおしまいください。天気の悪い日は、湿気を含んでおりカビや虫食いの原因になります。早くしまわないと婚期が遅れるなどと言いつたえられていますが、特に根拠はないので気にする必要はありません。それより長い年月飾る人形ですから、しまい方(保存状態)が重要です。

#### ●ひな人形の片づけに必要な道具は？

- ・毛ばたき……ホコリを払うとき使います。
- ・柔らかい紙(ティッシュ等)……お人形の顔を包みます。
- ・乾いた布……塗りの部分の乾ふきにつかいます。
- ・うす紙……お雛さまが動かないよう、すき間に柔らかく丸めて包みます。
- ・防虫剤……お人形、ぼんぼり、桜橘にいれます。

\*防虫剤はひと箱に1個とし、おひなさまなどに直接触れないように注意してください。また樹脂製品には入れないでください。表示ラベルでお確かめください。  
\*違う種類の防虫剤を一緒に入れしないでください。(例/ナフタリンと樟脳) また、毎年同じ防虫剤を使用するようにしてください。



天気がよくて、湿気のない日にしまいましょう。

## ひな人形の正しいしまいかた

よごれたまま  
しまわないでネ



お人形の顔や衣装、お道具類には、ホコリがついています。毛ばたきでよく落としてからしまいましょう。

あー!!  
だめですよ



お人形やお道具をそれぞれ柔らかい紙でくるんで、ホコリがつかないようにしてください。

顔や手の部分は素手でさわらないようにしてください。顔や手のところは、柔らかい紙(ティッシュ等)でくるみます。

持ち道具は取り外して、それぞれ決まった袋の中に入れてください。

こどしき  
たのしがたなま



やさしく  
つつんでネ

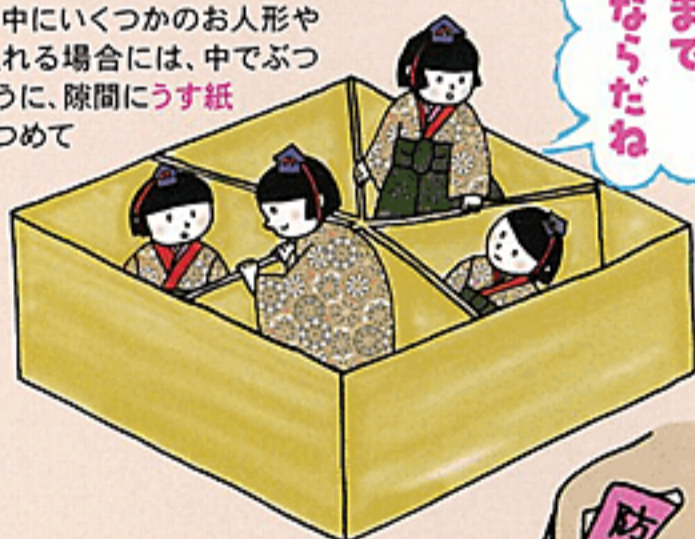


ぼくは  
まっちですよ



お人形やお道具は、それぞれ決まった箱の中に納めてください。飾る際に箱を開けた時の収納状態を写真に撮っておくと便利です。

大きな箱の中にいくつかのお人形やお道具を入れる場合には、中でぶつからないように、隙間にうす紙などを軽くつめてください。



来年まで  
きょうなうたね

防虫剤を入れてよいかどうかは、表示ラベルなどをよく見て確かめましょう。防虫剤を入れる時は、お人形専用防虫剤が最適です。



ちよっと  
まって!!

### しまい方 ワンポイント アドバイス

#### ●おひなさまはいつしまうの？

ひなまつりが終わった後、なるべく早くしまおうとされていますが、天気がよく、空気が乾いている日を選んでおしまいください。天気の悪い日は、湿気を含んでおりカビや虫食いの原因になります。早くしまわないと婚期が遅れるなどと言いつたえられていますが、特に根拠はないので気にする必要はありません。それより長い年月飾る人形ですから、しまい方(保存状態)が重要です。

#### ●ひな人形の片づけに必要な道具は？

- ・毛ばたき……ホコリを払うとき使います。
- ・柔らかい紙(ティッシュ等)……お人形の顔を包みます。
- ・乾いた布……塗りの部分の乾ふきにつかいます。
- ・うす紙……お雛さまが動かないよう、すき間に柔らかく丸めて包みます。
- ・防虫剤……お人形、ぼんぼり、桜橘にいれます。

\*防虫剤はひと箱に1個とし、おひなさまなどに直接触れないように注意してください。また樹脂製品には入れないでください。表示ラベルでお確かめください。  
\*違う種類の防虫剤を一緒に入れしないでください。(例/ナフタリンと樟脳) また、毎年同じ防虫剤を使用するようにしてください。